



江府町報

7月号

発行者
鳥取県江府町
電話 江尾(代) 2211
編集 企画室
印刷 (有)富士印刷

江府町の人口

(6月30日現在)

世帯数	1,347	世帯	
人口	5,164	人	
	(前月比)	3人減	
(男)	2,537		
(女)	2,627		
出生	3		
(男)	2		
(女)	1		
転入	8		
(男)	6		
(女)	2		
転出	13		
(男)	7		
(女)	6		
死亡	1		
(男)	1		
(女)	0		

第151号

大きな成果をあげた 郡民体育大会

雲一つない天気だ。真夏の日ざしが、江府中学校のグラウンドの上に照りつける。七月十九日午前九時、第三十六回日野郡民体育大会の入場行進がはじまった。江府町選手団は、町旗を先頭に堂々と行進、今年こそはの意気込みが感じられた。

この日の江府町の成績は、野球、バレーボール(婦人・女子)、卓球女子、バドミントン女子の優勝、軟式庭球(一般男・女、壮年)、バレーボール男子、卓球男子、柔道、剣道の準優勝と相も変らぬ力強さをいかなく発揮して総合優勝の栄に輝き、地元大会に花を添えた。

▲炎暑の中、各町選手はファイトいっぱい

(写真は、小倉元伸氏提供)

町民の信頼をうけて

—新しい町長・町議会議員きまる—

任期満了に伴う町議会議員一般選挙は6月21日行われ、即日開票の結果、現職11人、新人5人の新議員16人が誕生しました。さきに、無投票当選の決定した井上健治町長とともに、今後4年間の町政の担い手として期待するところです。

今回の町議選は八回め。ベテラン議員二人が勇退されたため、定数十六人に対して新人六人を含む二十人が立候補するという「激戦」となりました。最も身近な選挙とあつて町民の関心は高く、当日は町内二十か所の投票所で三千八百三十六人が投票（当日有権者三千九百九十六人）。投票率は九六％で前回を上廻る高率でした。

今回の選挙から、県下で三番め、西部地区のトップを切つて選挙公報が初めて登場。「政見や経歴がよくわかる」と有権者に好評を得ました。

七月五日から任期の始まる町長と町議会議員は、次のとおりです。



井上健治 65歳
武庫 無所属
当選六回

町長

議会議員

(紹介は上から得票数・氏名・年齢六月二十一日現在・住所・所属政党・当選回数)



中尾雄三郎 56歳
俣野 無所属
当選一回



川上実 55歳
小江尾 無所属
当選三回



岡田京三 55歳
貝田 無所属
当選一回



住田孝治 57歳
佐川 無所属
当選一回

議長に中田博さん

各常任委員もきまる

町長・町議会議員の改選後はじめての町議会が、七月七日に開かれました。この日は全議員が元気な顔をそろえ、正・副議長や常任委員、議員選出の監査委員など各種委員をきめたほか、町長提出の三議案を審議し、原案どおり可決しました。

(経済土木)

◎岡田京三 ○藤原嘉久 浜本博 遠藤量之 中尾雄三郎

(教育民生)

◎川上正 ○住田孝治 河上貞也 白石秀之 中村眞佐雄

議会運営委員

◎中田博 ○川上実 加藤寛川上正 岡田京三

消防委員会委員

清水要範 遠藤量之 住田孝治 中尾雄三郎

表彰審議会委員

中田博 浜本博 藤原米治

改選後の初議会は、午前十時から開かれ、まず、最年長の藤原米治議員を仮議長に選び、正・副議長をはじめ、各委員の選出に入りました。

議長及び副議長は、指名推せんにより、中田博議員を議長、川上実議員を副議長に選出、つづいて、各常任委員会や審議会の委員、組合議会議員などが次のとおり選出されました。

議会常任委員会(◎委員長、○副委員長、順序不同)

(総務)

◎加藤寛 ○加藤憲三 中田博 清水要範 川上実 藤原米治

投票所ごと投票率

投票所	当日有権者	投票者	投票率
土井之内会館	1,122人	1,054人	93.94%
佐川公民館	214	209	97.66
柿原公民館	113	110	97.35
明倫小学校	503	483	96.02
池の内会館	229	215	93.89
日の詰会館	247	233	94.33
宮市公民館	93	91	97.85
宮市原公民館	66	66	100.00
助沢公民館	59	56	94.92
下蚊屋公民館	119	117	98.32
御机分校	163	163	100.00
美用公民館	149	144	96.64
杉谷公民館	106	99	93.40
貝田公民館	190	187	98.42
大河原公会堂	138	137	99.28
吉原公民館	126	125	99.21
袋原公民館	53	51	96.23
小原公民館	66	64	96.97
下安井公民館	105	103	98.10
久連公民館	135	129	95.56
計	3,996	3,836	96.00
前回(52年)	3,923	3,751	95.62



中田 博 一九六
御机 無所属 52歳
当選三回



清水要範 一九六
吉原 無所属 55歳
当選一回



藤原米治 二一三
荒田自由民主党 67歳
当選三回



浜本 博 二一三
江尾 無所属 61歳
当選四回



河上貞也 一七三
宮市 無所属 40歳
当選二回



加藤 寛 一七九
佐川 無所属 67歳
当選四回



加藤憲三 一七九
俣野 無所属 54歳
当選一回



白石秀之 一九五
江尾 無所属 56歳
当選三回



中村眞佐雄 一四一
下安井 無所属 52歳
当選一回



藤原嘉久 一四四
俣野 無所属 55歳
当選二回



川上 正 一四八
美用 無所属 60歳
当選二回



遠藤量之 一六八
江尾 日本社会党 47歳
当選三回



池の内集会所新築工事の安全を祈り起工式

▽池の内集会所新築工事請

白石秀之さん

監査委員に

日野町江府町日南町衛生施設組合議会議員
河上貞也 加藤寛 藤原米治
溝口町及び江府町学校組合議会議員
清水要範 加藤寛 中村眞佐雄
西部広域行政管理組合議会議員
中田博

▽監査委員の選任
議会議員から選出する町監査委員に白石秀之議員を選任。

▽課室設置条例の一部改正
土木課を建設課に改正

負契約の締結
本年度電源立地促進対策交付金事業として池の内集会所新築工事を、指名競争入札で福井工務店と契約(工事費五千八百八拾万円)の承認。

8月1日は「水の日」

- 8月1日から1週間「水の週間」です。
- 夏場は1年のうちで最も多く水を使う季節です。いま一度、暮らしの中の水の大切さを見直しましょう。

盛大に

受章祝賀会

七月十三日、土井之内会館で生存者叙勲の栄に浴された、川崎仁、浜本博両氏の合同祝賀会が開催され、各種団体代表者等協賛者多数の出席を得てその栄誉を祝しました。



▲盛大に祝賀会が催されました

日交 一挙に二時間短縮 米子—大阪直行使

日交バスの米子—大阪直行使(中国縦貫道経由)が七月七日にスタートしました。これまでより所要時間が二時間も短縮され、四

消防団長に田口さん

消防団幹部が異動

真田良一氏の団長勇退により、去る4月1日付で次のとおり幹部の任命替がありました。

真田団長は、昭和38年4月から18年間、その団長の重責を努められ、消防団歴は、昭和9年4月から47年間、町の消防使命達成に努力され、今回後進に途を勇退されました。

退 団

元第2分団長 末次雅雄
(3月31日)

新 幹 部

団 長 田口 茂
副 団 長 芦立 喜明
第1分団長 細田 和三
〃 副分団長 岡本 昭一
第2分団長 森 正幸
〃 副分団長 高山伊磋雄

時間三十五分という便利な便に生まれ変わりました。

これまでは、米子—大阪間のバス四便(昼二便、夜二便)をいざずれも、鳥取市経由で運行していましたが六時間三十五分もかかり、米子からの利用者はわずかでした。

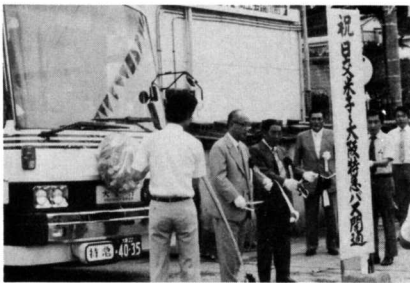
新路線は国道一八一号線の岸本溝口、江尾、根雨の四か所に停車したあと、四十曲峠から中国縦貫道を経て落合インターで中国縦貫道に乗り、西宮北、宝塚、梅田、弁天町の各停車場にストップします。日野郡沿線からは大都市直結便を利用できると期待の声があがっています。

この日の開通式では、江尾の停留場である江尾下停留場で井上町長、白石商工会長が記念のテープカット。また、第一便に乗車する運転手、日本交通社長に町から花

東が贈られました。時間、料金は次のとおりです。

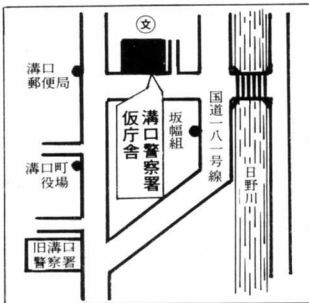
(時刻表)

大阪→米子	
大阪発	江尾着
7:50	12:27
11:50	16:27
米子→大阪	
江尾発	大阪着
9:08	13:40
14:38	19:10
(料金)	
江尾から大阪2,650円	



▲開通式を祝ってテープカットをする井上町長・白石商工会長

仮庁舎位置図



溝口警察署 仮庁舎で業務

溝口警察署は、溝口警察署庁舎新築工事のため、七月二十日から来年三月末まで、仮庁舎で業務を行います。仮庁舎は、溝口町立青年の家講堂です。電話番号は従来と変わらず〇八五九六二〇五二です。

いじめの事故続発

七月に入りしかも七月二十日から始まった夏の交通安全県民運動の展開中にも子供の交通事故が急激に増加しています。

溝口警察署管内では、七月中に六件の交通事故が発生し、その中でも、七月二十七日、岸本町大蔵では小学校一年生の死亡事故が起きています。

当分盛夏が続きそうです。夏はとくに過労や睡眠不足のため居眠り運転による事故が多発します。運転者は、ゆとりのある運転を心掛け、また、歩行者も交通ルールを守り一人一人が安全に努めましょう。

今夏の努力目標

- ・車上者の安全ベルト・ヘルメット着用の励行
- ・子供のとび出し保護者の注意
- ・歩行者の交通ルールの励行

総代さん決まる

日野地方農業共済組合

今年四月一日に合併発足しました日野地方農業共済組合の総代五十九人が次のとおり決まりました。また、日野地方農業共済組合では、畑作物共済、園芸施設共済を行っております。加入要件等詳しいことは、共済組合（電話〇八五九七―二一五一一）に問合せてください。

（敬称略）

日南町

長沢千之 広瀬明正 清水篤

森川一男 中田博 中村一雄 佐

伯武則 岩崎安敏 田中武 長崎

満美 原貢 飛田忠君 龍田利光

金谷幸男 松岡政実 福馬慶一

石川武夫 坪倉進 坪倉晃 重親

仁 石倉守明 田淵正春 井上暢

夫 松本利雄

日野町

生田勝美 坂本達美 山田俊

安藤貞治 若林朗 長谷川猪左夫

梅林延也 遠藤一男 塔田敏範

西村勝司

江府町

細田和三（江尾） 小川満（久

連） 上口勝茂（佐川） 妹尾昶

（西成） 清水隆将（大河原）

田中正成（宮市原） 山本喜和

（下蚊屋） 高津道喜（御机）

岡田峯晴（貝田） 金田司（下安

井） 山本重治（俣野） 加藤寿

名男（俣野）

溝口町

柴田清美 山本芳夫 安藤幹夫

杉原弘徳 米原喜久重 藤本義也

圓山利郎 井上猛 山中保 森田

岩雄 権代城輝 木村和 兵江正

寿



第28回 町畜産品評会開催

日ごろ皆さん方には生産性の向上と長期安定のため家畜の改良増殖にご努力いただいておりますが、町では八月十日、第二十八回畜産品評会を開きます。

●出品資格

種類	年 齢	資 格
和 牛 (一部)	昭和五十五年八月十日以後せりの終ったもの	鳥取県産で登録牛及び登録資格牛であつて二代登録資格牛であるもの。
和 牛 (一部)	昭和五十四年六月十一日以後昭和五十五年八月十日生まれまで	昭和五十四年九月三十日生まれまで
乳 牛		

6月期子牛せり市

6月期子牛せり市は、6月22日江尾家畜市場で開かれ、メス平均43万円、去勢牛平均28万円でした。

	メ ス	オ ス	去勢牛
出 頭	頭 62	頭 1	頭 93
最 高	千円 1,200	千円 253	千円 374
最 低	千円 253	千円 253	千円 166
平 均	円 430,225	円 253,000	円 276,569

総平均 337,487円

●主催

江府町、江府町農業協同組合

●後援

鳥取県経済連、鳥取県酪農連合

会

●期日

八月十日(月) (個体審査 午前九

時三十分から)

●場所

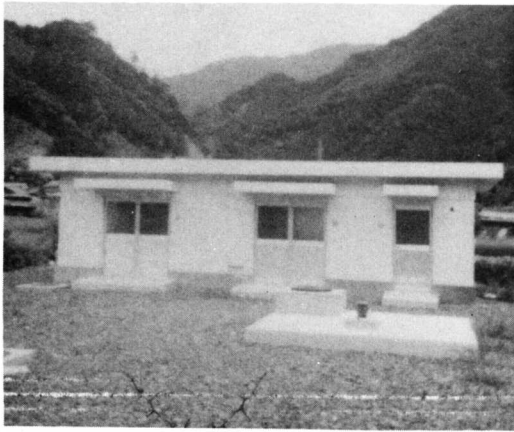
江尾家畜市場

環境整備に役立つ

年金積立金還元融資事業

私たちが月々納めている国民年金の保険料は、積立てられて老後に直接年金として支給を受けることになっていますが、国では、この積立金の有効な利用のため、町や村の各種生活関連施設整備の資金として融資するようになっています。

本町では、昭和五十五年度にこの融資を受けて次のとおり事業を行いました。



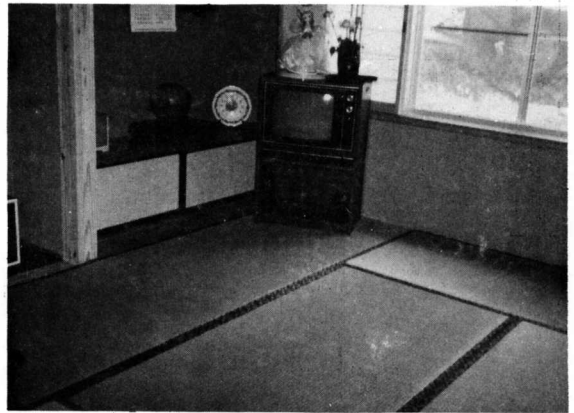
川筋地区簡易水道の水源地

昭和55年度 年金積立金融資対策事業

事業名	事業量	事業費	内年金資金
川筋地区簡易水道	計画給水人口 788人	千円 55,496	千円 24,400
老人居室整備	15件	15,000	13,800
障害者住宅整備	6件	7,500	6,900



▲障害者住宅資金で改築された台所



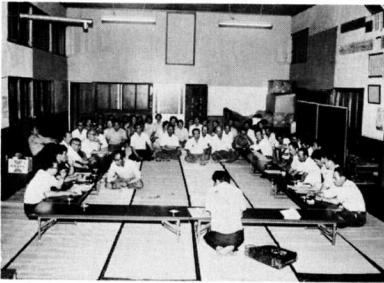
▲老人居室整備資金で改築された部屋

町長日誌

* 6 月

- 1日(月) 明德学園研修
- 2日(火) 県市町村行政懇談会 (米子)
- 3日(水) 在勤
- 4日(木) 定例町議会、郡体育協会総会
- 5日(金) 在勤
- 6日(土) 在勤
- 7日(日) 故元江尾村長生田和憲氏葬儀
- 8日(月) 坂野参議院議員来庁
- 9日(火) 県町村長会総会(鳥取)
- 10日(水) 軍恩総会、池の内役員来庁
- 11日(木) 西部町村長会(米子)
- 17日(水) 郡共済総代会(日野町)
- 23日(火) 初登庁
- 24日(水) 郡農業振興協議会(日野町)
- 25日(木) 農協理事會
- 26日(金) 農業委員会
- 27日(土) 職員互助会
- 28日(日) 半ノ上行政座談会
- 29日(月) 在勤
- 30日(火) 中電技術鈴紀社長就任あいさつ来庁

会館サヨナラ敬老会 (池の内)



▲池の内地区の「サヨナラ会館」集会

今年の電源立地交付金事業で建設される予定の池の内会館で、このほど地区老人クラブ総会、敬老会などが相ついで行われ、取こわされる建物は、かつて建設にたずさわった地区の先輩たちが名残りを惜しみました。

この会館は昭和二十九年に、部落造林と部落の婦人会造林を伐採して新築され、公共施設の乏しかった当時、日野郡内では「根雨公會堂に次ぐ」と贅えられたものです。そして建築用材となり、建築資金にあてられた前記の造林は、大金にあてられた前記の造林は、大



▲新築を報じた29年9月号の公民館報

「青春の遺書」を集録 『江府町軍歴誌』を発刊

正の末ごろ同部落の先覚者藤原長吉さん(故人)が、村人の先頭に立つて植林させてきたもので、昭和二十九年九月号の町公民館報「江府町」は、トップ記事に扱って、これらの事情を報じています。

軍人恩給連盟江府支部(井上一委員長)が主催して、一昨年(井上一)着手して「江府町軍歴誌」が完成し、去る六月十日、同支部の総会で発刊されました。

この軍歴誌は、わが国が近代国家として新しく出発した明治以降、軍務に服した生存者の体験記録を集めたもので、参加者は百二十二人、いずれも生死を背中合わせにした戦争の悲惨なありさま、暗い時代に過ぎた厳しい体験を冷静に記述しており、「青春の遺書」とも言える貴重な記録集。

同志はB5版、全体一五二ページ



▲発刊された「軍歴誌」

BBS運動 会員募集

BBS運動とは、不幸にして非行に陥った少年たちの「ともだち」となって、立ち直りを援助したり社会に青少年の保護や非行防止の理解と協力を働きかける奉仕活動です。

会員の資格は
17歳～35歳くらいまでの熱意ある人。

おたずねは
08596②0727 大下修一さんまで

中前さん二種目でNo.1 県身障体育大会

七月十二日、境港市境小学校で第十九回鳥取県身障者体育大会が開かれ、本町選出選手二名が上位入賞を遂げました。

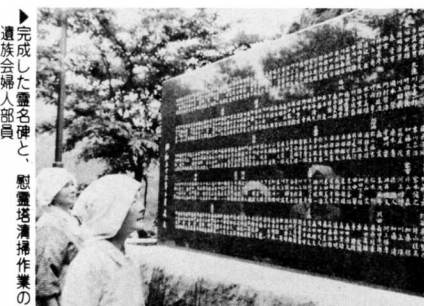
この大会は国際障害者年を記念し、県下の身体障害者若者を育てることを目的に、陸上十三種目、水泳八種目、卓球の各競技が行われました。

江府町選手の成績は次のとおりでした。

慰霊塔合祀者名を碑に

かねて町で計画していた、慰霊塔合祀者の霊名を刻んだ碑が完成し、慰霊塔に合わせてまつられました。

碑は二〇〇石に二〇〇石、横長の黒みかけ一枚石、西南の役から、さきの大戦に至るまでの戦没者の霊名を部落別に刻んであり、昨年歴史民俗資料館におさめた写真とともに、ながく故人をしるふよすがになりました。



▶完成した霊名碑と、慰霊塔清掃作業の遺族会婦人部員

植正確造

一位 中前松美

二位 加藤 晃

立幅跳

一位 中前松美

(中前松美さんは、七月二十日急死されました。ご逝去を悼み、慎しんで哀悼の意を表します)

第31回 社会を明るくする運動

7月、社会を明るくする運動月間です。

これは、すべての国民が犯罪の防止と、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

次代を担う青少年を非行から守り、非行のある青少年の立ち直りを助けるため、地域に理解と協力の輪を広げましょう。

今年の重点目標
『青少年の非行防止と更生の援助』

町内の保護司と更正保護婦人会の皆さんは次の方です。

- 保護司
久連 生田 梅芳
美用 下尾千鶴子
俣野 加藤美喜枝

更正保護婦人会

- 会長 遠藤 満枝
会員 下尾千鶴子、加藤美喜枝、中尾きよ子、手島恵美子、田中純子、加藤美佐子、福田絹江、佐伯晴代、住田信子、長岡吹雪、浦部澄子

7月10日～8月9日 部落解放月間

正しい知識で解放へ

人間は生まれながらにして差別意識をもって生まれてくる人はいないと思います。その意識は誰もが産声を上げた時からその人の周囲の人々によって、日常生活の中でそれとなく教えられてきます。それによって社会意識としての部落に対する差別観念が永い歴史の上に形成され、今なお根強い国民感情として残っています。

これを克服していくには、すべ

ての人々の生活、社会的な権利を保障できるような町づくりをしてゆかねばなりません。それは部落差別に対する誤った考え方を正しい方向へ導くことができるだけの正しい知識を基礎にしてはじめて始まり、それによる我々全町民の同和問題に対する正しい認識の深まりが、差別のない明るい町をつくってゆくのではないのでしょうか。この期間中、県並びに町の教育委員会によります各種研修会等が催されます。我々自分自身の問題として、みんなで見守りましょう。

国民年金

年金証書を提出しよう

八月は、福祉年金を受けておられる方が、「国民年金証書」と、「所得などの申立書」を、役場へ提出する月です。

この手続をすると、今年八月から来年七月までの一年間の福祉年金が受けられるかどうか県で決定され、「国民年金証書」は、次の支払が始まる十一月に間に合うように、役場を通じて受給者の手許にお返しすることになります。

したがって、もし、この手続が遅れますと、十二月に福祉年金が受け取れないことがありますので、八月に福祉年金を受け取ったら、早目に提出する事が必要です。

福祉年金は、受給者やその配偶者、扶養義務者などに、一定額以上の所得があったり恩給や厚生年金などの制度から年金を受けていたりすると、年金の

一部又は全部が停止されることがあります。

そこで、このようなことを確認するため、毎年一回「年金証書」と「所得などの申立書」を提出していただくわけです。

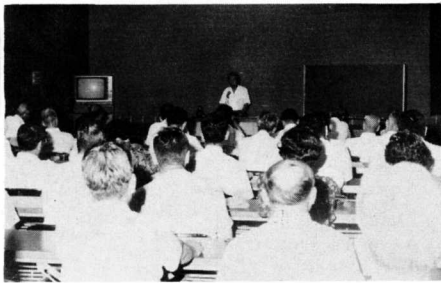
なお、「所得などの申立書」は、国民年金証書の表紙の裏面に用紙が貼付してありますので提出するときは記入もれや記入



誤りのないよう十分注意してください。

今年、法律が改正され老齢福祉年金の受給者については、扶養義務者の所得の多寡によって、支給される年金額が異なります。

詳しいことは、町役場年金係にご相談ください。



▶七月十四日、八十名参加して同和講演会

夏の省エネルギー対策

いま、国をあげて石油消費節約を進めていることは、みなさんよくご存じの通りです。

猛暑の夏は、クーラーの使用が増えるなど、電気をはじめとするエネルギーの消費が増大します。

家庭においても、ことしの夏は次のような工夫をし、省エネルギーに努めましょう。

冷房温度は28度に調節を

クーラーを使う場合は、こまめに調節を行い、冷房温度をおおむね二十八度に保ちましょう。冷房温度を一度上げれば、燃料費は約一割節約できます。

冷蔵庫の上手な使用を

冷蔵庫は、家庭用電力の約四分の一を消費しています。扉の開閉は、できるだけ少なく、開放時間は、短くしましょう。食品を詰めすぎると、冷え方が悪くなります。

また、直射日光の当たるところ

を避け、後ろの壁から一〇センチ以上離して置きましょう。

テレビは、つけっぱなしにしないようご注意

テレビをみないときは、こまめに消しましょう。特に、つけっぱなしで時計がわりにするのは電気の大きなムダ使いになります。



お風呂は、沸かし方に工夫を

お風呂の水は、適量を午前中にくんでおいたり、太陽の熱を利用して暖めておいてから沸かしましょう。また、家族がそろってはいれる時間に沸かして次

次にはいると、追いだきをしないで済みます。

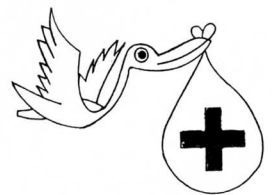
洗たくは、上手に工夫を

洗たくは、適当な量の洗たく物をまとめて洗うのが、上手なやり方です。また、すすぎ洗いの前に脱水すれば、すすぎ時間が短くて済み、水と電気の節約になります。



クーラーや照明器具のお手入れを

クーラーは、フィルターの掃除を心掛けてください。フィルターの目づまりは、能率が落ち、快適な冷房ができません。照明器具は、ホコリや汚れによって二〇〜三〇％暗くなります。月に一度は、お手入れをするのが上手な使い方です。



献血ありがとうございました

日本赤十字社の献血車が、6月15・16日の両日町内を巡回し、次の方々からご協力をいただきました。(敬称略)

6月15日

江尾郵便局前

- 藤森茂治 中祖規矩夫 竹内勇
- 梅林春枝 谷口歌子 永井昭市
- 小笠原美智子 加藤邦子

御机公民館前

- 伊達磯美 小倉正刑 川上憲司

国民宿舎甘酒茶屋前

- 見山収 瀬島民子 田中金明
- 松原康博

江府町役場前

- 仲鳴勝利 中川久美子 西田哲
- 藤森史子 竹内敏朗 山川浩市
- 板井久 中川秀樹 川端睦子
- 阿部朝親 関内温子 木村忠之
- 川上良文 本高善久 後 房雄

6月16日

中国電力俣野川発電所建設所本部前

- 中島百合子 長谷川一夫
- 岩谷康夫 可知英樹 瀬崎秀夫
- 望月豊博 田中敏郎 足立好子
- 西尾憲司 藤原淳一 小坂仁志
- 戸谷宗一 津田栄一 河上美紀子
- 熊谷鋭 丸井健治 藤原昌美
- 川上まり子 堀部守宏 國本和義
- 下村道夫 江崎淳一 佐々木治夫
- 福田いずみ 川島太助 下坂美鈴
- 萬田和之 宮本孝治 徳岡利樹

間組中電俣野作業所前

- 河野健司 有村敏幸 金居雅彦
- 大上正 古里利夫 伏本信行
- 岡田道也 後藤透介 城忠忠弘
- 古賀謙一郎 山中愛蔵 石原久美
- 塩見康裕 金田公人 石仏武久
- 清水八重子 山本鶴次 西田文則
- 片山寿

大成建設中電俣野作業所前

- 村田和郎 阿部愛子 吉富幸雄
- 津中重彦 三浦養一 加藤賢治
- 五十嵐安雄 藤原俊貞 阿部正明
- 館野幸一 大崎博美 浜本鉄雄
- 高橋薫 藤本久夫 西川典廣
- 栗原芳紀 池田延良 畝本勝彦
- 宮本充 室伏尚 加藤由加利
- 浦部弘子 加藤節子 幸真正明
- 官能木の実 岩崎昇 大浦幹男
- 中原巖 鎌田一郎 星田達男
- 三宅忠治 辰巳暁 阿部あけみ
- 岡博 江藤俱義 青本強

ふるさと歳時記 64

郷土の近世生活史料

乞賞請申入聲之事



一、貴様子善太郎、此度為家名相続... 賞請申事実正し御座候。然上ハ私共夫婦、随分念頃ニ養育致被引候儀定ニ御座候。仍而、若三年之内、不和之義も有之、及出退ニ候節ハ、為給錢壹年ニ拾貫文宛相渡シ可申候。尤、私共を見限り申候ハバ何も不遺、手振りニ而出し可申候。左候得バ手前娘不義不法之儀も有之、善太郎了簡ニ不相叶節ハ、他家へ縁付ケ

候共勝手次第第二可致、三年も過候ハバ、格式半分訛違シ可申候。右儀定之通聊相違無御座候。仍而為後日定書如件。 本人 洲河崎村 平次郎 寛政五年 丑十二月日 同村 与三兵衛殿 前書之通憶ニ存、届申候 以上 同村庄屋 林兵衛 同村年寄 与三右工門

い昔の家族制度を知る上で貴重な資料である。 まず書出しにある通り、男子を家へ迎えるのは「家名相続」が入夫婦姻の重要な目的であり、次いで老夫婦をねんごろに養うことである。 続いて将来にわたる具体的な条項に移り「三年以内に不和を生じ、家を出るときは、一年につき十貫文の割合で」今日でいう慰謝料の支払いを約束する代り、髻方の一方的な理由によるときは「手振り(何も持たせない)で追出す」と手きびしい。 又、嫁となる娘の落度によって気に入らぬときは「他家へ縁付けてもよい」とは、この文書を交しているのが双方の父であるところから、善太郎、すなわち髻の去就をその父に任しており、母尊女卑、家長の絶対

権限を物語っている。 このようにして三年も辛抱してくれば「格式」というから財産その他、家長としての権利半分を分与する。と結んでいるが、この内容から推して、中流以上の家における縁組と思われる。 今ひとつ洲河崎の浦部久吉家に、天正十一年の養子縁組の議定書が残るが、四百年の昔でも縁組にあたって婚家から財産の一部を差出したこととがみえる。 これらに比べ「嫁して三年子なきは去る」・「女三界に家なし」など、その昔、日本の女性に用いられた諺の悲しさが今更のように思い出されることである。 (資料提供 洲河崎 影山一亮・佐々木正、協力 俣野・加藤雄治各氏)

人の動き(6月届)

結婚を祝します 片岡 千明 溝口町溝口 門脇 里香 江尾から 竹内 稔 境港市外江町 細田 由美 江尾から 安藤 充 日野町黒坂 梅林 友子 江尾から 守谷 潔 北九州市小倉北区 久木ちひろ 下安井から

佐伯 和弘 江尾 平井 清美 神奈川県平塚市から 筒井 治基 下蚊屋 筒井 豊子 下蚊屋から 嶋田 健一 岡山市 高橋 京子 武庫から 清水 勉 吉原 門野紀代美 兵庫県城崎郡から 湯淺 富夫 島根県安来市 岡崎久留美 江尾から 越峠 道夫 下蚊屋から 川上まり子 久連

ごめい福を祈ります ありがとうございます

お誕生おめでとう 本二 關内由貴緒 貢 長男 御机 高津 尚志 富広 長男 本一 平川 歩 陽之 長女

本一 木村静子殿 (夫金市様ご逝去) 新二 生田 和憲 79歳 昌也宅 (父和憲様ご逝去) 内祝として 貝田 遠藤 昇殿 (本人様退院) 本一 八加部銀市殿 (本人様退院) 本一 松崎啓一殿 (本人様退院) 御机 岡 とし子殿 (本人様退院) 本五 佐々木美恵子殿 (本人様退院) 貝田 岡田正宣殿 (本人様退院) 日田 森本 操殿 (本人様退院) 日田 川上幸恵殿 (本人様退院) 美用 徳岡亀子殿 (本人様退院) 下安井 谷口昌寿殿 (本人様退院) 小原 藤原嘉久殿 (本人様退院) 池の内 藤原嘉久殿 (本人様退院) 下蚊屋 筒井百治殿 (本人様退院)

六月 月中寄託分 香典返しとして 宮市 末次理治殿 (父清治様ご逝去) 新一 吉田 尊殿 (妻幸佳様ご逝去)

特別寄付 小江尾老人クラブ 雑布50枚 老人クラブ製作品 以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。 江府町社会福祉協議会

善意銀行受払報告 1. 五月末累計額 二十七万六千九百六十円 2. 六月中寄付額 二十三万五千円 内 訳 快気祝 十五万五千円 香典返し 八万円 3. 支出額 四万八千九百円 4. 六月末累計額 四十六万三千六十円